学校番号	１００７

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	古典Ⅰ						
使用教科書	高等学校　改訂版　標準古典Ｂ（第一学習社）						
副教材等	3 ステップオリジナル問題集基礎古文（尚文出版） 読解のための必修古典文法（文英堂） 大学入試　現代語の例文で覚える古文単語 250（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・四年制大学進学者向けに、入試問題を念頭に、必要な古典の知識を習得する。
・古典の文章を読み取り、必要な文法を覚え、内容を理解する。
・受験に必要な内容はもちろん、筆者やその時代の背景、登場人物の心情理解や、面白みを理解する。
・選択者がお互いに教え、学びあう授業を目指す。

２　学習の到達目標

文法事項を学習しながら、古典文学の情緒や、古人の考え方に触れていく。教科書にある有名な作品について読解を深め、文法については助動詞、さらに助詞の意味がとれるようになることを目標とする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで育てるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読む力を進んで育てるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 （出席状況） 記述の点検 （ノート、プリント課題等）			記述の確認 （プリント課題等） 考査	記述の確認 （ノート、プリント課題等） 考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1ターム	説話	古本説話集 平中が事 十訓抄 文字の一つの返し 古今著聞集 小式部内侍が大江山の歌の事	○			○	○	a： 短く、話が具体的で展開の分かりやすい説話を読み、古文に親しむ。 d： 場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。 e： 古語辞典を用いて重要古語の意味用法を調べ、理解する。動詞の活用を確認する。	a:行動の観察 d: 記 述 の 確認、応答と発問 e:定期考査、小テスト
2ターム	物語・歌物語	竹取物語 火鼠の皮衣 かぐや姫の昇天 伊勢物語 初冠 通ひ路の関守 小野の雪	○			○	○	a ：文脈に沿って作品を読み味わい、古文を読む楽しさ、古典世界の広がりを理解する。物語の世界を味わい、我が国の美意識を理解する。 d ：場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。作中の和歌を修辞技巧に留意して、話の展開に沿って解釈する。 e ：敬語表現を理解し、人間関係をとらえる。助動詞の意味を確認する。	a:行動の観察 d: 記 述 の 確認、応答と発問 e:定期考査、小テスト
3ターム	随筆	徒然草 奥山に、猫またといふものありて よろづのことは頼むべからず 方丈記 ゆく川の流れ 養和の飢饉	○			○	○	a ：随筆の文章に触れて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。作者の人間観、社会観などを読み取り、それに対して自分の意見や考えを持つ。 d ：文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 e ：無常観について理解する。係り結びについて理解する。	a:行動の観察 d: 記 述 の 確認、応答と発問 e:定期考査、小テスト
4ターム	随筆・日記	枕草子 春はあけぼの うつくしきもの すさまじきもの 更級日記 門出	○			○	○	a ：作者の自然観賞の美意識、鋭敏性を味わう。 d ：文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。宮廷サロンの雰囲気を想像し、作者と宮中・同僚女房との関わりや、その中での作者の心情を考える。 e ：女流日記文学や作者について概要を理解する。形容詞の語義を確認する。	a:行動の観察 d: 記 述 の 確認、応答と発問 e:定期考査、小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。